

東 経 連 情 報

2022 年 12 月 27 日

外航クルーズ船の宮古港への寄港について

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、当会）は、ポストコロナを見据えた観光需要、観光消費の創出に向けた活動の一環として、外航クルーズ船の東北・新潟地域への誘致に取り組んでいます。

今般、大型外航クルーズ船「MSC ベリッシマ」の来年 8 月の宮古港への寄港が決まりましたのでお知らせいたします。

「MSC ベリッシマ」来年から日本に配船される世界有数の大型クルーズ船で、乗客数は約 5,600 名です。尚、来年 8 月のクルーズ船ツアーは、HIS グループが同船をチャーターし、ツアーの販売まで行うものです。東北エリアでは宮古港の他、石巻港と青森港にも寄港します。

今回の宮古港へのクルーズ船誘致では、リアス式海岸の景色や三陸の魚介類を使った食といった宮古市の魅力に加え、東経連の支援により、内陸である盛岡市と連携し、「さんさ踊り」の迫力をアピールしたことが大きな成功要因となっています。この背景には、寄港地から移動時間が 1 時間半以内の観光資源というクルーズ船独特の制約条件がある中、これまで 2 時間以上かかっていた宮古―盛岡間が、復興支援道路開通により、移動時間が 1 時間半になったことがあります。

コロナ禍で一時的に中断していましたが、クルーズ船ツアーの需要はリピーターを中心に堅調です。また、今後大型船の導入により、ツアー商品の価格帯が広がることで新たな顧客層の獲得が見込まれます。一方で、東北エリアへの寄港は未だ少なく、フロンティアであり、魅力を確り伝えていくことで、他のエリアよりも高い寄港数の伸びが期待されます。

当会では、引き続き東北・新潟エリアの魅力的な観光資源の開発と発信を行い、クルーズ船の誘致を通じた観光消費の拡大を図ります。

以上

【本件担当】

（一社）東北経済連合会 食・観光グループ 中村
電話：022-397-6415

(添付資料)

1 大型クルーズ船「MSC ベリッシマ」



総トン数：171,598 トン

全長：315.83m

全幅：43m

乗客数：5,655 名

乗組員数：1,595 名

2 ツアー日程

2023 年	寄港地	到着時間	出発時間
8 月 2 日	横浜		19 : 00
8 月 3 日	石巻	12 : 00	20 : 00
8 月 4 日	宮古	8 : 00	23 : 00
8 月 5 日	青森	13 : 00	23 : 00
8 月 6 日	終日クルーズ		
8 月 7 日	釜山	13 : 00	18 : 00
8 月 8 日	鹿児島	12 : 00	21 : 00
8 月 9 日	高知	12 : 00	(停泊)
8 月 10 日	高知		17 : 00
8 月 11 日	横浜	13 : 00	

3 復興道路・復興支援道路の開通による観光エリアの拡大



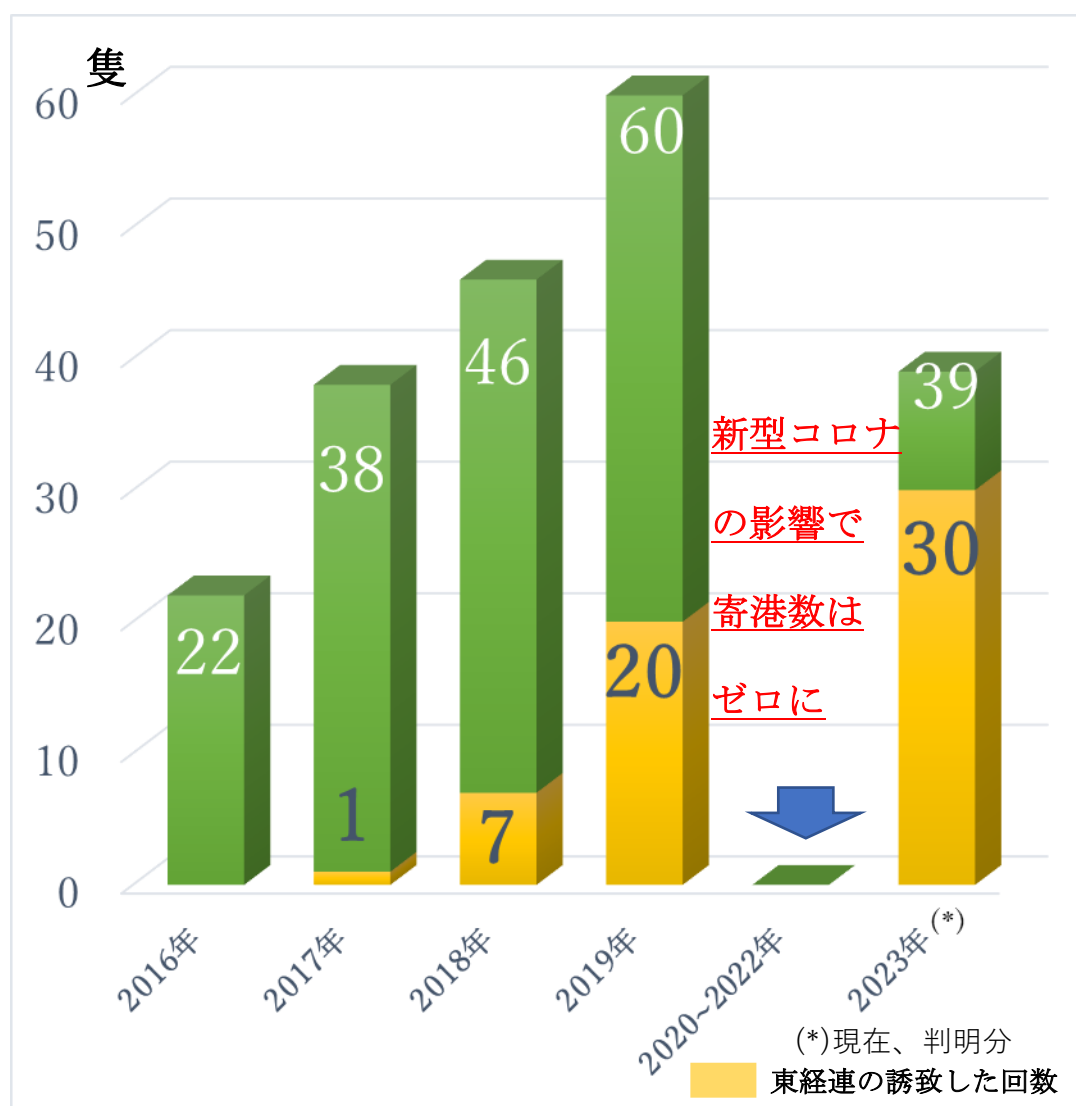
- ✓ 復興支援道路（宮古盛岡横断道路）の開通により、これまで 2 時間以上かかっていた移動時間は、1 時間 25 分に短縮。
- ✓ これにより盛岡が寄港地観光エリアの圏内になり、さんさ踊りをオプションツアーのメニューに加える事が可能になった。

4 東北経済連合会のクルーズ船誘致事業の概要

【クルーズ船誘致事業の位置付け】

・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言5. 潤う・潤す観光」に向けて観光需要・観光消費の拡大への取り組みを展開している。

・鉄道ではカバーできないエリアに、一回の寄港で大人数の集客を行うことが出来るクルーズ船ツアーは、知られていない東北・新潟の魅力をより多くの人に訴求できる旅行商品であり、その誘致は東北・新潟地域の発展に資する活動と位置付けている。



以 上